

# 新しい治療薬の「治験」

## 当院では積極的に取り組みをしております

「治験」で新薬開発に貢献！  
 日本経済新聞 2010年2月14日(日曜日) 17ページ  
 《暮らし安心》を解説させていただきます

新しい新薬を開発するには、人に投与して有効性・安全性を確認する「治験」という過程が必要となります。この治験、一般の人にはあまり関係ないと思われがちですが、実は身近な医療機関でも実施されており

### 長所(メリット)

- きめ細やかな診療を受けることができます。通常より詳しい検査や診察が実施されます。
- 新しいお薬の候補(治験薬)での治療が可能になります。いち早く治験薬での治療が受けれます。
- 治療費の負担と費用の軽減ができます。治験参加中で決められた期間の検査や治療薬以外で指定されているお薬の費用は、製薬会社が負担します。

### 短所(デメリット)

- 有効性がない可能性  
新しいお薬の候補が必ずしも現在使われているお薬より優れているという結果が出るとは限りません。
- 副作用の可能性  
臨床試験は、非臨床試験や健康な方での第 相試験などで安全性を確かめた上で行われますが、予想しない 副作用がみられる可能性もあります。
- 通院回数が増える可能性  
治験に参加することで、通常の診察より検査の頻度や診察の頻度が増える可能性があります。

治験は国の厳密なルールの下、大学病院・国立病院など大病院での実施が目立ちますが、街の診療所(当院)でも実施しております。診療所は糖尿病、生活習慣病や頻尿などの慢性期の治療を得意としております。当院では、治験について十分な説明と患者様の納得した意志(同意)の下、実施させていただきます。また、いつでも患者様の意思により、同意を撤回することができます。その際、これからの治療に不利益を受けることは一切ございません。興味がありましたら、いつでもご相談して下さい。

さかさばらクリニック 院長 榎原映枝

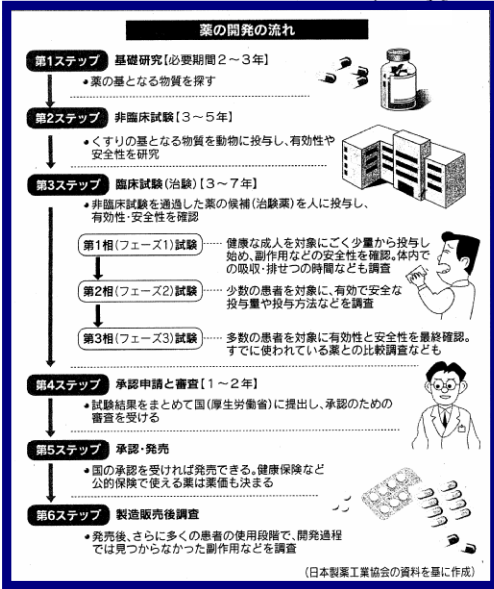
## 暮らし安心

新しい薬を開発するには、人に投与して有効性・安全性を確認する「治験」という過程が必要となります。この治験、一般の人にはあまり関係ないと思われがちですが、実は身近な医療機関でも実施されており、治験に参加することで、通常の診察より検査の頻度や診察の頻度が増える可能性があります。

東京部で暮らす吉田博 病気の数の患者を対象とする第 相、多数の患者を対象とする第 相の3段階に分かれます。

### 新しい治療薬を試ませんか?

「治験」で新薬開発に貢献  
 国の厳密なルール  
 2ヵ月間、毎日の放射線照射を受けた。定期的に血液検査や尿検査を受けた。治療費は1度のペースで通院月に1度のペースで通院検査を受けた。治療費は1度のペースで通院検査を受けた。



## 「治験」で新薬開発に貢献

### 知識深まり、医療費無料

治験は国の厳密なルールの下、大学病院・国立病院など大病院での実施が目立ちますが、街の診療所(当院)でも実施しております。診療所は糖尿病、生活習慣病や頻尿などの慢性期の治療を得意としております。当院では、治験について十分な説明と患者様の納得した意志(同意)の下、実施させていただきます。また、いつでも患者様の意思により、同意を撤回することができます。その際、これからの治療に不利益を受けることは一切ございません。興味がありましたら、いつでもご相談して下さい。

### 健康被害には補償も

治験は国の厳密なルールの下、大学病院・国立病院など大病院での実施が目立ちますが、街の診療所(当院)でも実施しております。診療所は糖尿病、生活習慣病や頻尿などの慢性期の治療を得意としております。当院では、治験について十分な説明と患者様の納得した意志(同意)の下、実施させていただきます。また、いつでも患者様の意思により、同意を撤回することができます。その際、これからの治療に不利益を受けることは一切ございません。興味がありましたら、いつでもご相談して下さい。

日本の治験環境は、海外に比べて劣る。研究費も少ない。時間がかかる。研究費も少ない。時間がかかる。研究費も少ない。時間がかかる。

**劣る日本の治験環境**

研究費不足 時間がかかる

研究費も少ない。時間がかかる。研究費も少ない。時間がかかる。研究費も少ない。時間がかかる。

編集委員 藤原 敬一